

 **住友金属鉱山**

証券コード 5713



MINING THE FUTURE

第98期 中間報告書

2022年4月1日－2022年9月30日

株主のみなさまへ

目次

Top Message	1
連結業績ハイライト	3
トピックス	5
株式状況	6
会社概要	巻末



株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第98期 第2四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年9月30日まで）のご報告を申し上げます。

2022年度第2四半期連結累計期間の業績について

主に円安の影響により、前年同期間と比べて増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、ロシアによるウクライナ侵攻に伴うエネルギーおよび食料価格などの大幅な上昇、これに対応する欧米などの政策金利引き上げ、中国の新型コロナウイルス感染症に対する厳格な防疫措置などにより、成長が減速しました。

為替相場については、日米の金融政策の相違による金利差拡大や日本の貿易赤字の拡大に伴う円売りドル買い取引の増加などにより、急速に円安が進行しました。

銅価格は、世界経済の成長減速などにより下落基調となり、前年同期間を下回りました。ニッケル価格は、堅調な需要に支えられ底堅く推移し前年同期間を上回りました。金価格は、米国の政策金利引き上げなどにより下落基調となったものの、前年同期間と概ね同水準となりました。

材料事業の関連業界については、2050年カーボンニュートラルという大きな潮流に乗ってガソリン車から電気自動車への移行は継続しており、車載用電池向け部材の需要は拡大基調となりました。一方、中国をはじめとした世界的な需要減少を受けスマートフォンの出荷台数が減少したことなどにより、電子部品向け部材の需要は縮小傾向に転じました。

このような状況のなか、当第2四半期連結累計期間は、主に大幅な円安、ニッケルの平均価格上昇の影響により、前年同期間と比べて売上高、利益ともに増加しました。

通期業績予想・配当の見直しについて

通期の業績予想については、主要な非鉄金属価格は足元の水準を考慮の上で将来の需給バランスを予測して見直し、為替は足元の水準を考慮し見直しました。この結果、8月に発表した通期予想と比べ、減益の見通しとなりました。また、配当については、中間配当90円を実施させていただきました。期末配当予想85円と合わせて年間計175円の予想としています。

株主のみなさまへ

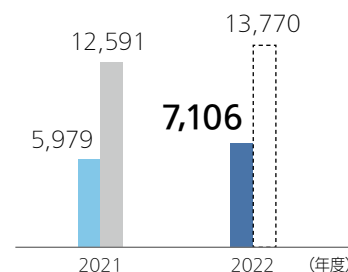
景気の先行きが不透明な状況となっておりますが、当社は長期ビジョンに向けて成長戦略を推進し、企業価値の最大化に努めていきます。株主のみなさまにおかれましては、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 野崎 明

連結業績ハイライト (IFRS)

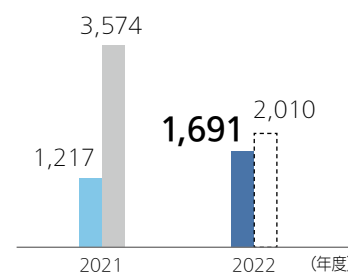
売上高 (億円)

■ 第2四半期累計 ■ 通期 □ 通期予想



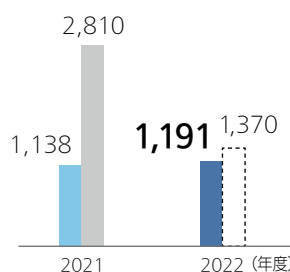
税引前利益 (億円)

■ 第2四半期累計 ■ 通期 □ 通期予想



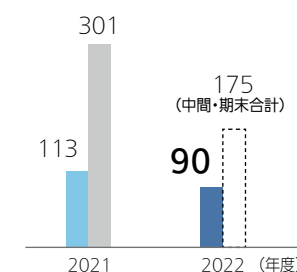
親会社の所有者に帰属する
四半期利益 (億円)

■ 第2四半期累計 ■ 通期 □ 通期予想



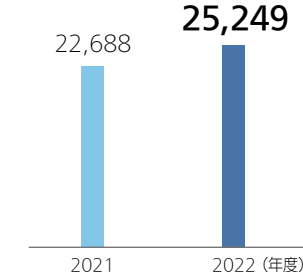
1株当たり配当金 (円)

■ 中間 ■ 年間 □ 通期予想



資産合計 (億円)

■ 年度末 ■ 第2四半期末

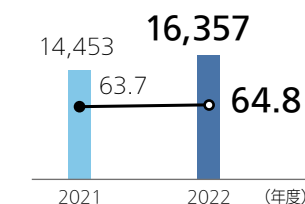


親会社の所有者に帰属する
持分合計 (億円)

■ 年度末 ■ 第2四半期末

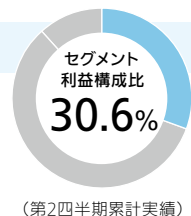
親会社所有者帰属持分比率 (%)

● 年度末 ○ 第2四半期末



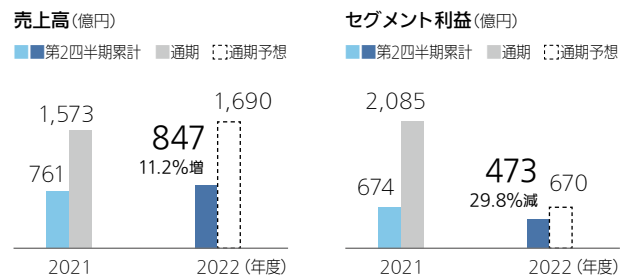
資源セグメント

Mineral Resources



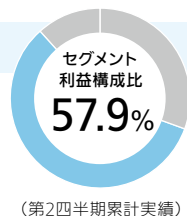
当第2四半期連結累計期間の概要

- セグメント利益は、為替相場が大幅な円安となったものの、今年2月にシエラゴルダ銅鉱山(チリ)の全保有持分の譲渡が完了したため今期間はその利益の計上がなかったこと、菱刈鉱山のサステナブルな生産体制への移行に伴う出荷量の抑制、銅価格の下落基調局面における精算差額の悪化などにより、前年同期間を下回りました。
- 菱刈鉱山は年間販売量4.4トンに向け順調な操業を継続しており、販売量は2.4トンとなりました。
- モレンシー銅鉱山(米国)の生産量は、新型コロナウイルス感染症対策として実施していた一部設備の操業度低下策の終了などにより前年同期間を上回り、20万4千トンとなりました。
- セロ・ベルデ銅鉱山(ペルー)の生産量は、給鉱品位の上昇や選鉱場の稼働率上昇などにより前年同期間を上回り、21万7千トンとなりました。
- ケブラダ・ブランカ銅鉱山(チリ)フェーズ2開発プロジェクトは建設の終盤に差し掛かっており、2023年からの本格生産開始をめざしています。



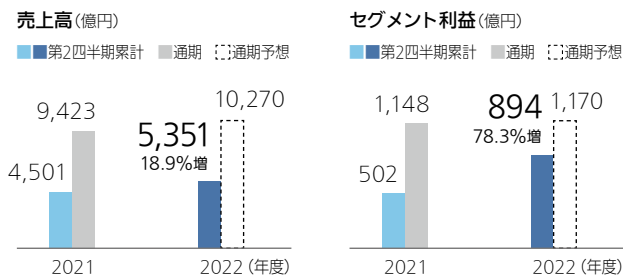
製錬セグメント

Smelting & Refining



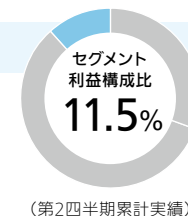
当第2四半期連結累計期間の概要

- セグメント利益は、銅および金などの非鉄金属価格が下落基調に転じたものの、大幅な円安やニッケルの平均価格上昇などにより前年同期間を上回りました。
- 東予工場(愛媛県)における電気銅の生産量は前年同期間を上回りました。
- ニッケル工場(愛媛県)における電気ニッケルの生産量は原料不足などにより前年同期間を下回りました。
- コーラルベイニッケル社(フィリピン)の生産量は、悪天候の影響による減産があったものの、定期メンテナンス日数の短縮に努め前年同期間並みとなりました。
- タガニートHPALニッケル社(フィリピン)の生産量は、設備トラブルなどによる減産があった前年同期間を若干上回りました。



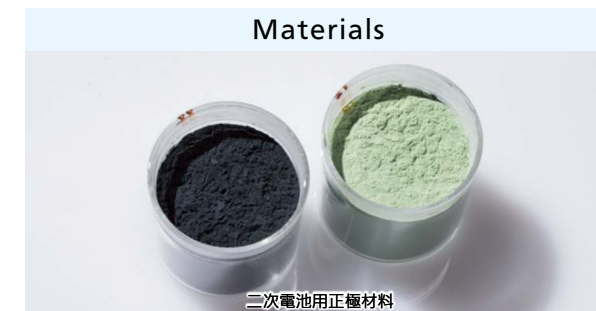
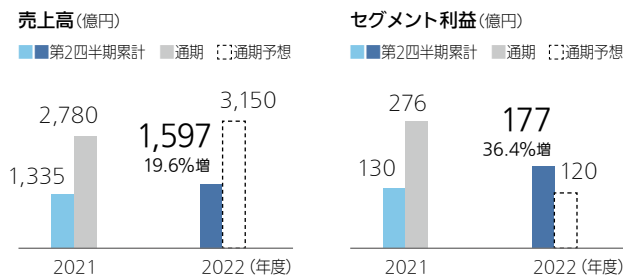
材料セグメント

Materials



当第2四半期連結累計期間の概要

- セグメント利益は、中国における電子部品向け部材の需要が縮小傾向に転じたものの、急速に進むカーボンニュートラルへの取り組みを背景に需要が堅調である車載用電池向け部材などの好調により、前年同期間を上回りました。
- 足元ではスマートフォン、PC向けなどで需要が減少する製品もありますが、中長期ではDX(デジタル・トランスフォーメーション)や自動車の電動化により需要は堅調に推移すると見込んでいます。
- 電池材料の増産に向けた工事は順調に進捗しています。2025年の完成に向け、建設を進めていきます。



注)セグメント間の取引が発生しており、当社の売上高として公表している数値はこれを消去した外部売上高の合計です。各事業の売上高、セグメント利益はセグメント間取引を消去する前の金額を表記しております。セグメント利益構成比は、3セグメント合計に対する比率を表記しております。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が発表時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

住友金属鉱山の現在がわかる、注目トピックスをご紹介します。

2022年9月

別子地区の新社員寮が完成

別子地区(愛媛県新居浜市・西条市)において建設を進めていた新社員寮が完成しました。新社員寮は3棟259戸の居住スペースや共用棟から成り、当社の社員寮としては最大規模となります。居住スペースではプライベート時間を快適にする空間を確保するとともに、共用棟では居住者同士のコミュニケーションや学びを促進するためのさまざまな仕掛けづくりを行っています。また、太陽光発電パネルや蓄電池の導入によってCO₂排出量低減にも寄与する設計になっています。

別子地区は当社最大の事業拠点として、主要な工場や研究所が多数立地する地区であり、当社のもづくりの中心的拠点として、成長戦略の推進や若手人材の育成においても重要な位置付けを担っています。新社員寮は、当地区における人材確保への寄与と、次世代を担う人材の成長を後押しする象徴的施設として活用していきます。



新社員寮(愛媛県)

2022年10月

当社初のグリーンボンド発行

当社は、環境課題の解決に資する事業の資金調達のため、当社初となるグリーンボンド(以下「本社債」)を発行いたしました。本発行により調達した資金は、車載用二次電池正極材の増産に向けた設備増強および新工場建設に係る新規投資または既存投資のリファイナンスへの充当を予定しています。

現在、世界的な脱炭素の流れの中で、自動車の電動化が急激に加速しています。当社では車載用電池向けにニッケル系の正極材を生産・販売しておりますが、その需要は大きな広がりを見せています。当社は、この需要拡大に対応するため、二次電池用正極材の増産を目的とした設備増強および新工場建設を行います。脱炭素化に貢献する高性能電池材料の供給拡大により、重要課題「気候変動」において、「2030年のありたい姿」として掲げる「温室効果ガス(GHG)排出量ゼロに向け、排出量削減とともに低炭素負荷製品の安定供給を含めた気候変動対策に積極的に取り組んでいる企業」の実現に向けて取り組んでいきます。



建設中の新工場(愛媛県)

個人投資家向け説明会を開催

8月31日に、個人投資家向けの説明会を開催いたしました。今回はオンライン開催で、広報IR部長がご説明しております。資料と動画はウェブサイトに掲載しておりますのでぜひご覧ください。

<https://www.smm.co.jp/ir/event/document/>

統合報告書2022を発行

本年度の統合報告書では、2月に発表した中期経営計画のテーマ「変革への新たな挑戦」より、「変革」を統合報告書全体を貫くテーマとして設定し、長期ビジョンの実現に向けた「2030年のありたい姿」の取り組み、21中計による社会環境変化への対応、変革への新たな挑戦の具体的な取り組みなど、ステークホルダーのみなさまの関心の高い内容を重点的に説明しています。ウェブサイトにぜひご覧ください。

https://www.smm.co.jp/ir/library/integrated_report/

2022年10月

新しい企業広告の開始

10月6日(木)より、新しい企業広告を公開し、ブランドプロモーションを展開しています。広告の柱となるメッセージは「ずっとやるんだ。」とし、住友グループの源流事業を受け継ぐ、創業430年以上の歴史を持つ当社がさらに未来を見据えて前進していく姿勢を表現しています。また当社のイメージキャラクターとして、俳優として長いキャリアを持ち、第一線で活躍し続けている生田斗真さんを起用しました。60秒・30秒のCMをテレビやインターネットにて順次放映しています。

特設サイトを開設しておりますので、ぜひご覧ください。

<https://www.smm.co.jp/brand/zutto/>

ずっとやるんだ。

未来という言葉を使うときは、慎重でありたい。それが、この星の資源に向き合う者としての責任だと思うからだ。限りある資源そのものを、私たちは生み出せない。けれど私たちは、新たな方法を生み出せる。アイデアと技術を組み合わせながら、最大限価値を引き出すことができる。その努力は、すぐ形にならないかもしれない。その道は、ときに険しく、終わりが見えないかもしれない。それでも私たちは、挑み続けようと思う。私たちが見つけ、取り出すものが、誰かの想像や願いを叶える原動力になると信じて。そのすべての一歩が、次の世代の道を拓くと信じて。非鉄金属で、未来をつくる。その覚悟は、意欲は、軽くない。

株式の状況 (2022年9月30日現在)

発行可能株式総数 発行済株式総数
500,000,000株 290,814,015株

株主数
63,833名

株式メモ

事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日まで

株主総会

定時株主総会 毎年6月
臨時株主総会 必要の都度

資格基準日

定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日 中間配当 9月30日

株主名簿管理人および特別口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

[郵便物送付先]

〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

[電話照会先]

0120-782-031

[ウェブサイト]

<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>



会社概要 (2022年9月30日現在)

商号

住友金属鉱山株式会社
Sumitomo Metal Mining Co., Ltd.

本社所在地

東京都港区新橋5丁目11番3号

創業

天正18年(1590年)

設立

昭和25年(1950年)

資本金

932億円

従業員数

連結：7,548名 単独：2,716名



SMMニュースメール

住友金属鉱山のプレスリリースやお知らせを、
発表後にメールで配信しています。

ぜひご登録ください。

ご登録は当社ウェブサイトから

https://www.smm.co.jp/news_mail/



当冊子についてのお問合せ

住友金属鉱山株式会社 広報IR部

〒105-8716 東京都港区新橋5丁目11番3号

TEL.03-3436-7705 FAX.03-3434-2215

<https://www.smm.co.jp/>

